

平成 30 年度 第 1 回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】平成 30 年 10 月 9 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時

【開催場所】東御市総合福祉センター 3 階研修室

【申込団体】東御市女性団体連絡協議会

【参加者数】20 名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】市民病院について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

【概要】

（会長）

改革が進んでいる市民病院について、市長の考えをお聞きしたい。

（市長）

合併前の東部町の時代に、町民、議会、医師会の皆さんと議論を重ね、赤字覚悟で公立病院を生み出しました。現在、全国的に公立病院で、社会や地域に必要な医療を提供するといった役割と採算性とのバランスが問題になっています。今後、高齢者人口の割合が増

加するなかで、高齢者が入院できる環境を整えることが必要と考え、鹿教湯三才山リハビリテーションセンターと連携し経営改善を進めてまいりたいと考えています。

(会員)

病床数を増床されるということだが、今後の施設の見通しについてお聞きしたい。

(市長)

施設等については、増床数の詳細が煮詰まったところで検討していく予定です。

(会員)

現在、三才山病院へはどの程度の市民が通院入院しているか。

(市民病院事務長)

40人程度です。入院している方の家族がお見舞いに通う際の負担もあると考えています。

(会員)

リハビリの選択肢があるなかで、安心感を得られるかが重要かと思う。

(市長)

安心感という点があるため、三才山病院との連携はより必要になるかと思います。地域に入院しながらリハビリが可能な病院があればいいとの話もあるなかで、三才山病院と市民病院にとってより良い形を検討し、利便性と質を追求していきます。

(会員)

市民病院に麻酔医がいないため、手術ができず採算性が悪いという話を聞いたが、今後はどのように考えているか。

(市長)

近隣病院との医療連携のなかで、手術については他の病院にお任せし、その後の回復や療養について力を入れていきたいと考えています。

(会員)

吃音外来で良い医師がいると聞いている。継続して欲しい。

(会員)

診療科目が増加しているなかで、受診データを市民の予防に役立てることはできないか。

(市民病院事務長)

今年度から院長肝いりで「私たちは、市民のいのちを守り、くらしを支えるために、地域に密着したプライマリケア・センターを目指します」という基本理念を掲げています。

今後も北御牧温泉診療所と連携し、地域の根幹の医療提供を継続していきます。

(会員)

訪問診療をしていただき非常にありがたい。今後の在宅医療の考え方を教えてほしい。

(市長)

在宅のほうがいい場合と施設がいい場合があるなかで、在宅医療は医師と家族のコミュニケーションが重要と考えています。看取りも含めて地域全体として考えていくことが必要です。

(会員)

市民病院の機能を大きくするという前向きな話であり非常にありがたい。我々も自分のこととして考えていきたい。今後も理解を得ながら改善にあたっていただきたい。

(市長)

ありがとうございました。